

平成27年5月19日

議長立候補の所信表明

結城 弘明

私の議会での行動指針

議員の議会運営に際し最も大切な事は、市民が何を望みどうすべきかを真剣に精査のもと、的確に掴む事であります。私は3期12年間、議会運営委員会に所属して参りました。その経験を生かして行きたいと考えております。

前期に制定、施行した議会最高規範の議会基本条例に基づき、二元代表制の元、執行部とは建設発展的に議論し、可能な限りの議員総意を求め、その最良の意志に基づき即実行することが重要であると思えます。要は、市民目線で現場と現物を直視する事に政治の原点があると確信します。

議会内においてはそれぞれの問題意識や観点など異なり、意見の違いがあることは当然であり、そこで建設的な議論を経てオリジナリティに富んだ古賀市議会の形成に努力します。

1. 議会運営について（判りやすい議会の構築に向けて）

(1) 議会の市民に対する可視化の拡充（市民に議会活動をより知ってもらうため広報活動の活発化）

①インターネット配信の有効活用と市民の利用促進のため、積極的な周知活動を行います。

②議会報編集委員会が常任委員会化された事により更なる進化が求められることから、議会報の有用性や在り方を模索するため市民アンケートを実施し、必要且つ親しまれる広報を模索します。

(2) 議員間の情報の共有

①議員に対する庁内研修の充実を図ります。（古賀市の現状や課題、問題点、施策を早く知る）

②タブレット端末の有効活用や情報機器活用に向け、執行部に働きかけを行います。

- ③他市議会からの視察来庁の折には、所管の委員会は可能な限り対応し、相手方からも情報を得るよう努めます。

2. まちづくりへの施策について

- (1) にぎわいと希望ある古賀市を創る。(古賀市のあらゆる資源を生かしたまちづくりの推進)
- ①第4次総合振興計画の後期見直しが迫る中、その素案が提示されると思われます。また、まち・ひと・しごと創生総合戦略に対する議会対応も急がれることから、議会から意見や政策提言ができる特別委員会などの体制づくりを行います。
 - ②人口増対策については、三世代が定住できる環境づくり(教育・働く場所・生活環境の整備、移動手段の確保など)に努力します。
 - ③土地の有効利用で経済の活性化を図ります。都市計画区域編入問題、インター周辺、JR古賀駅周辺の再開発、工業団地の新設などは喫緊の課題であります。
- (2) これらについて積極的政策提言を行い、執行部の評価、支援とともに、県・国への働きかけを行い、まちづくりを推進します。

以上が議長に立候補するに当たっての所信表明であります。ご賛同よろしくお願ひ申し上げます。